

センター通信

発行所 広島市就労支援センター
(社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会受託)
TEL (082) 537-1331
FAX (082) 537-1332

2024年12月、2025年1月〔第283号〕

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp
http://h-shisyurou.jp/

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

あれだけ暑い日が続いていた夏が遠い昔のように感じます。最近の寒さは、辛いものがあります。皆様は元気に過ごされておいででしょうか。

新型コロナが第5類への移行となって以来、様々なイベントが開かれ、広島市就労支援センターも出店支援や販路拡大の取組を進めています。

『魅せるディスプレイとPOP』広島市就労支援センター主催の研修会

10月24日(木) 14:00~16:00に広島市就労支援センターの主催で、久保 咲央里氏(デザインオフィス仔ざる貯金 デザイナー・イラストレーター・システムエンジニア)を講師にお招きして『魅せるディスプレイとPOP』と題して、研修会を開きました。8事業所13名が参加されました。研修の内容は、各事業所から、事前に提出していただいたPOPデータ、販売しているディスプレイの正面からの写真をもとにして、お客様を引き付けるディスプレイやPOPの効果的な活用方法を学び、売り上げアップにつながるような研修でした。また、研修終了後に個別相談を受け付け、より具体的にアドバイスを受けられました。出店していくうえで参考になる事が多く大変有意義な研修会でした。参加された皆さんは、



- うちに足りないところが分かり、参加して良かったと思う。今後は今の研修会で教えてもらったことを活かせるディスプレイ、ポップ、配置等を導入していきたいと思う。ポップの書き方、作り方の研修があれば参加したいので是非研修でしていただきたいと願っています。楽しかったです。
- ディ스플레이は奥が深いなあと、とても勉強になりました。「世界観」を出す、が印象的でした。もうすぐある秋祭り、色々小物を出すので縦に分けてディスプレイ頑張ります。
- いろいろな作業所の方の悩み等を聞けて、皆さん同じことを思っているなあと感じました。少しの工夫で商品の見え方が変わってくるなと思いました。平面ではなく高さ。商品をまとめる等、色々参考になり学ぶことができました。有難うございました。
- 統一感、雰囲気作りがとても大事なことがよく分かりました。利用者さんの目線での販売になりやすかったが、お客様に喜んでいただけるもの、どうしたら幸せになってもらえるだろう、わくわくした気持ちで選んでもらえるだろう、など再度持ち帰り、職員と話し合い、今後のマルシェに活かしていきたいと思いました。有難うございました。
- 大変勉強になりました。ごちゃごちゃしてしまう商品をどう見せて展示していくか写真を使うというのは気が付きませんでした。他の事業所さんも個別に説明をされて皆さん同じ悩みを抱えておられるのがよく分かりました。そのことも参考になりました。有難うございました。

このような感想を述べられました。来年度の参考にさせていただきます。

アートなおひさまマルシェ開催

『秋のアートなおひさまマルシェ 2024』を開催しました。



日程 2024年10月23日(水)～10月29日(火)

会場 広島三越 1階ステージ

参加 22事業所、かめいち堂

売上 2,146,232円(税抜)

今秋も、広島三越において、第6回となる「おひさまマルシェ」を、広島市就労支援センターと共催しました。

今回は、今春開催しました、「春のアートなおひさまマルシェ 2024」で参考出品し、多くの来店者に好評でした、障害のある方が描いたアートを使用した『&ART』のポーチ、バック、クッションなどを初めて販売しました。

また、8月上旬、ゆめサ

ポート・バク(福山市神辺町)において、STU48の兵頭葵さん、尾崎世里花さんがプロデュースして制作されたオリジナルジェラートも販売しました。

兵頭葵さんには、初日に応援に来ていただき、これまでプロデュースされたアクセサリー、チョコレートなどのオリジナルグッズの紹介や、県内の障害福祉サービス事業所の商品の良さも、アピールしていただきました。

一方で、NHK 広島に取材を頂き、翌日に放送されましたが、マルシェ期間中、衆議院議員選挙があったこともあり、マスコミの取り上げも少なく、来店者が少なかった感があります。次回以降、多くの方々に事業所製品を手にとって観ていただけるよう、更なる工夫の必要性を感じました。



今回も「おひさまマルシェ」の開催に当たって、広島三越様、かめいち堂様のご協力と、千羽鶴未来プロジェクトの吉清有三理事・事務局長に総合プロデュースをお願いし、広島交響楽団やおりづるタワーなどとのコラボ商品の制作も増えています。魅力的な事業所製品を提案できるよう、引き続きご助言をお願いしたいと思います。

(広島県就労振興センター事務局長
橋中育雄)

事業所まつりの紹介コーナー

安芸区矢野東にある社会福祉法人安芸の郷は 2003 年 10 月に区内の 3 つの作業所が手を合わせて誕生しました。その当時の建物は森の工房 AMA といい、広い敷地と緑いっぱいの建築物でしたが、新たな利用者の受け入れが地域で必要となり 2012 年 8 月に第 2 森の工房 AMA を建設しました。どちらも広島市から広い土地をお借りしており、現在 3 事業所（多機能型森の工房みみずくとやの、森の工房あやめ）に毎日約 100 名の利用者が通所する場となっています。

発足した 2003 年の 12 月には森の工房 AMA の食堂でクリスマスコンサートを利用者と家族、地域の皆さんの参加で始めたのが自前での行事のスタートでした。翌年の 2004 年夏にはブルーベリーまつりを開催して約 600 名の参加（過去のピーク時には 1300 名）で真夏の炎天下屋上のブルーベリーの摘み取り体験や模擬店、ステージ発表などのプログラムとテーブルやいすを用意してゆったりくつろげる空間を設置しました。もう一つは事業所で製造したブルーベリージャムやクッキー、天然酵母パンや工芸品の販売ブースを設けて地域の皆さんにお買い上げいただく場を用意して買い物もできる場づくりをしました。その後季節のよい春と秋にブルーベリーまつりよりも小規模な「ブルーベリーフェア」と銘打った行事も始めました。ブルーベリーまつりは 2018 年 7 月の土砂災害（第 2 森の工房 AMA も土砂がきた）とその後のコロナ禍で中止する年が続いたので行事の見直しをし、酷暑続きの夏のブルーベリーまつりはブルーベリーの摘み取り体験会に規模を縮小させ、気候がよく天気も安定する 10 月の第 2 週目の土曜日に「あきのそらまつり」として再スタートし今日に至っています。今年度の売店機能を持つ行事は 8 月のブルーベリー摘み取り体験会、10 月のあきのそらまつり、3 月の春のブルーベリーフェアとなっています。

以下メモランダムに特徴を紹介します。

行事の考え方→事業所の機能を生かした自前の販売機会をつくる。地域とのふれあい。建物と庭の空間を生かした場づくり

事業所の機能とは→ブルーベリー、パンなどの製造場所、直営のカフェや食堂や、広い庭や屋上のブルーベリー園と移動しやすい全館土足でのバリアフリーな建物、隣接する広島市の運動場を駐車場での利用、ボランティアの協力を仰ぐ前提での企画づくり

自前の販売機会と作る→地域の人々の事業所への親しみと理解と売上増で利用者の工賃増をめざす

宣伝方法→ホームページの活用、月 1 回発行の安芸の郷通信を支援者に年 4 回無料配布

今年度も 11 月は地域の公民館まつり、安芸区民まつりなどに出品する機会が多くありますがこれらに出向いて触れ合うことと並行して安芸の郷では自分たちが働く安芸の郷の建物の中に出店を作り地域に皆さんに来ていただくことで理解が深まるので、職員が知恵を出し合って行事内容の充実を追求している。

今年 10 月 12 日に行われた「第 2 回あきのそらまつり」の第 2 森の工房 AMA の会場（cafe さくら前）。約 600 名の参加があった

（理事長 遊川和良）



事業所自主製品紹介コーナー

事業所名 社会福祉法人安芸の郷 森の工房やの（生活介護/就労継続支援B型）

電話番号 082-888-8820 **所在地** 広島市安芸区矢野東 2 丁目 4-26

森の工房やのには「生活介護やの」と「就労継続支援 B 型 さくら」があり、約 60 名の利用者が通所し仕事をしています。森の工房やの内に「カフェさくら」では、コーヒーやソフトドリンク・ブルーベリージュースなどと一緒に、天然酵母パンを使ったサンドなどのランチやケーキ・デザートなどを食べる事ができます。食品は手作りで素材にこだわり、お客さんに安心・安全な食品を提供することに心がけています。また、手



（写真：カフェさくらのランチ）

紙すきハガキ、木工製品ではまな板やカッティングボード、園芸ではブルーベリーの苗木を育てて販売しています。上記の自主製品はカフェにて販売しており、季節限定の商品もその都度並んでいます。また、10月～2月の安芸地域のお祭りへのバザー出店や、10月「あきのそらまつり」・3月「春のブルーベリーフェア」を開催し、たくさんの自主製品を用意して皆様のお越しをお待ちしています。（主任：久保浩輝）

事業所名 社会福祉法人広島市社会福祉事業団 広島市皆賀園

電話番号 082-921-0813 **所在地** 広島市佐伯区皆賀二丁目 10-11

広島市皆賀園は五日市駅から歩いて15分程の住宅街の中にあります。

約130人の利用者さんが通われ、7つのグループに分かれて作業活動や創作活動、企業等への就労に向けたトレーニングを行っている事業所です。

自主製品は、パン・クッキーと一筆箋を作って販売してい



ます。焼きたてパンは26年間変わらずご愛顧いただい

ており、皆賀園の顔となっている商品です。一筆箋は折り鶴再生紙を使い、利用者さんの字をそのまま活かして作成しました。第14回ひろしまグッドデザイン賞奨励賞をいただき、現在も好評いただいております。これからも利用者の皆さんと力を合わせて、喜んでいただける自主製品を考えたいと思います。（副園長 岡本晃治）



育成会まつりが開かれました。

12月1日（日）に育成会まつりが開催されました。

会場のコジマホールディングス西区民文化センターはたくさんの人で大賑わいでした。育成会まつりの目的は、知的な障害のある方たちと地域との触れ合いです。

午前中は研究大会がありました。午後からギャラリーに於いて各区育成会会員による作品や各事業所による作品が展示されました。会議室では、バザーやゲームコーナー、遊休品の販売や弁当や飲み物、小物、クッキーやキノコの販売もありました。

育成会まつりの目的の通りたくさんの方のふれあいの中、皆さん楽しく過ごされていました。



イベント情報

僕らのアトリエ in アステール

市立広島特別支援学校及び小・中学校特別支援学級の児童生徒が製作した作品の展示と共に福祉事業所の作品（製品）の展示会を合同で開催します。

福祉事業所〔16事業所予定〕の作品は展示販売します。

ご来場をお待ちしております。

会場：JMSアステールプラザ

市民ギャラリー（広島市中区加古町 4-17）

開催日：令和7年1月25日（土）～27日（月）

展示：10：00～19：00（最終日のみ 15：30 終了）

販売：10：00～17：00（最終日のみ 15：30 終了）



広島市役所は火・金曜日、安佐北区役所等は火・木曜日に出店販売しています!!

12月、1月の出店販売日は次のとおりです。販売時間は12:00~13:00です。

広島市役所 1階ロビー（東側）				
出店販売日			事業所（1）	事業所（2）
12月	3日	火	SOAR きつつき	ワークハウススマイル
	10日	火	Bスマイル	レインボーゼロ
	13日	金	ベーカリーノイエ	SRA 横川南
	17日	火	いしうちベーカリー	Smile ふあーむ
	20日	金	ピース・ドリーム作業所	とまとの木
	24日	火	Bスマイル	アカリエ
1月	7日	火	SOAR きつつき	パンダハウス
	14日	火	ピース・ドリーム作業所	LOVEART
	17日	金	Bスマイル	SRA 横川南
	21日	火	広島皆賀園	おりづる作業所
	24日	金	ピース・ドリーム作業所	上安作業所
	28日	火	Bスマイル	アイラブ作業所
	31日	金	ピース・ドリーム作業所	とまとの木

是非お立ち寄りください。

		安佐北区役所 1階ロビー		安佐北区総合福祉センター 2階	
12月	3日	火	ふたつかの里		
	5日	木	ベジモファームBひろしま		
	10日	火	ラフォーレ高陽		
	12日	木	就労継続支援 B型 MIRAIMA	ベジモファームBひろしま	
	17日	火	つなげよう。農ある暮らしと ICT		
	19日	木	ベジモファームBひろしま		
	24日	火	ラフォーレ高陽	可部つちくれの家	
	26日	木		つなげよう。農ある暮らしと ICT	
1月	7日	火	ふたつかの里		
	9日	木	ベジモファームBひろしま		
	14日	火	ラフォーレ高陽		
	16日	木		ベジモファームBひろしま	
	21日	火	つなげよう。農ある暮らしと ICT		
	23日	木	ベジモファームBひろしま	つなげよう。農ある暮らしと ICT	
	28日	火	ラフォーレ高陽	可部つちくれの家	
	30日	木		ベジモファームBひろしま	